

ウトロ海域における保全と利用の取組みの進捗状況について

知床ウトロ海域環境保全協議会の取組みと主な活動

うみどり WEEK 開催（7月16日（海の日）から7月31日）

うみどり WEEK
7/16(月)~7/31(火)

うみどり WEEK 期間中はイベントが盛りだくせん!

うみどり解説トーク
実物のうみどりを見て解説を聞いてみよう!
大型観光船ホーワ号で開催
7/20(金)10:00発 知床岬航路
7/22(日)10:30発 硫黄山航路
7/26(木)10:00発 知床岬航路
7/28(土)10:30発 硫黄山航路
別途乗船料が必要です。

うみどり&知床海の写真展
アイマフリや知床の海の生き物をとらえた写真の数々。
展示場所: 知床世界遺産センター
展示期間: 7月14日(土)~8月10日(金)
入場無料

うみどりトーク
うみどりを知らず! 海鳥の専門家による解説トーク
ホテルで夜のおとく海鳥の絵に耳をかたむけませんか?
20時30分よりホテルロビーにて開催
7/19(木): 北こぶし知床 ホテル&リゾート
7/20(金): KIKI 知床ナチュラルリゾート
7/25(水): 知床第一ホテル
7/27(金): ホテル知床

サンセット・クルーズ
夕暮れの時間に出港する限定ツアー
日時: 7月29日(日) 17:40 出港~18:40 帰港
参加費: 大人 3000円 子供(高校生まで無料)
問い合わせ先: 知床小型観光船協議会 事務局
TEL: 0152-24-3231

うみどり 海鳥 サンセットクルーズ
夕暮れの時間に出港する限定ツアー
絶滅危惧種のうみどり「アイマフリ」などの海の生き物を船の上から観察します。
日時: 7月29日(日) 17:40 出港~18:40 帰港
集合: 午後17:20 ウトロ「ゴジラ岩観光・カムイワッカクルーズ」受付事務所
参加費: 大人 3000円 子供(高校生まで無料)
※海鳥week期間中にウトロの観光船に乗船した方はチケットをみせると半額で参加できます
服装: 船に乗って海上に出るため、ジャンパーなど暖かい服装
持ち物: 双眼鏡(お持ちでない方は貸し出します)
問い合わせ先: 知床小型観光船協議会 事務局
TEL: 0152-24-3231

「うみどり WEEK」に関する問い合わせ
知床ウトロ海域環境保全協議会 事務局
環境省ウトロ自然保護官事務所内
TEL: 0152-24-2297

なお、今回のサンセットクルーズは一部「前田一歩團財団」の助成を受けて開催します。

・ うみどりトーク

ウトロにある観光ホテルにおいて4回開催を行った。北こぶし 知床ホテル 30名・KIKI 知床ホテル 30名・知床第一ホテル 10名・ホテル知床 40名の合計約110名の参加があった。今回はアイマフリを中心とした海鳥の解説に加え環境教育的な内容にも触れた。



・ うみどり観察トーク

ウトロ漁港発着の大型観光船おーろら号に乗船し、実際に海鳥の観察を行いながら解説を行った。

7月20日：30名、7月22日：10名、7月26日：40名、7月28日：40名の合計約120名の参加者があった。おーろら号はうみどりトーク時には、ケイマフリなどの海鳥の出現ポイントではスピードを落としたり協力的にさせていただき、うみどりトークの開催趣旨を理解していただいていると感じられた。参加者の反応も良くケイフリが近くに出現すると歓声があがることもあった。



・ うみどりサンセットクルーズ

1回目：7月22日 子供14名、大人8名、その他関係者8名 計30名。ウトロ愛護少年団を中心に地元の子供達を招待して行った。

2回目：7月29日 子供8名、大人14名、その他関係者14名の合計36名。一般観光客が中心であった。



・ うみどり WEEK 特別展

知床世界遺産センターの展示室において特別展を行った。

・ 知床自然センターでのトーク

7月29日知床自然センターのレクチャーコーナーにおいて約15分の海鳥トークを行う。参加者約15名

我孫子ジャパン・バード・フェスティバル

11月3日～11月4日、千葉県我孫子市手賀沼湖畔で開催され、今回で3回目の出展。毎年2～3万人の来場者がある。協議会のPRの他に、知床国立公園や知床財団そして各観光船のPRを行った。また、今回から展示ブースで海鳥やケイマフリの普及啓蒙を目的としたクイズラリーを行い、来場者と対話を増やす工夫を行い反応も非常に良かった。



大阪自然史フェスティバル

今回はじめての出展。11月17日～11月18日、大阪市長居公園内大阪自然史博物館で開催された。大阪自然史フェスティバルとしては15年目となる。毎年1～2万人の参加があり、今年は2万4千人の来園者があった。西日本最大の自然史市民の文化祭である。出展ブースも毎年100前後である。JBFで好評であったクイズラリーを行った。表面にクイズ裏面に知床海鳥WEEKのPRを行った。



根室バードランドフェスティバル

1月25日～1月27日 根室市ベルコ会館の展示ブースにおいて展示を行った。
ここでも、クイズラリーを行った。表面にクイズ裏面に知床海鳥 WEEK の PR を行った。



* 根室以外での出展では、知床の場所はどこか？ ウトロの場所がどこか？ アクセス方法は？ といった基本的な情報についても明示しておく必要を感じた。まだまだ知名度低いと感じる場面もあった。

前田一歩財団の助成について

今年度、前田一歩財団の助成を受けた。調査目的のひとつとしていたケイマフリの繁殖生態を観察するために試験的に設置した巣箱が高波のため流出してしまい、その調査ができなかった。また、ケイマフリの繁殖期が終了後に巣箱とデコイの設置を予定していたが、天候不良のため実施できなかった。



2018年に設置したケイマフリ巣箱

知床ウトロ海域環境保全協議会の海のハンドブック

小型船では昨年度に 2800 部程度の販売数を記録したが、今年度は 400 部程度。船長のアナウンス（ガイド）による宣伝の有無で販売部数が大きく変わる傾向があった。また、今回は胆振地方地震の影響で客足が減ったことも影響した。

安定した販売促進をするための工夫や営業活動も必要であり、今後は改訂版を作成する予定もある。

ケイマフリの生息状況について

利用と保護の観点から特筆事項としては、以前、小型観光船の侵入により営巣地を放棄し生息数も減少していた「トークシモイ」（こけし岩周辺）にケイマフリの生息数が回復してきた。これは、この海域に小型観光船の侵入を遠慮していただけるようお願いしてきた結果でケイマフリの保護と利用を進めてきた成果であると考えられる。

オオセグロカモメの糞被害と駆除

ウトロ市街地の廃屋の屋上に営巣するオオセグロカモメによる糞害に苦情があり、斜里町の依頼により知床財団が巣の撤去を行った。半島の方では営巣数が減少しており、そのかわりウトロ市街地周辺で数が増えている状況がある。また、昨年はウミネコの営巣も確認された。今後、このようなカモメ類の糞害による苦情が増えると予想される。知床ウトロ海域保全協議会としても、知床半島でのカモメ類の置かれて状況を住民や観光客に理解していただくとともに、このような軋轢を軽減できるように積極的に関わりたいと思っている。（*オオセグロカモメとウミネコは北海道指定の絶滅危惧種Ⅱに指定されている）